

令和4年度 事業計画書

《協会事業運営の基本的考え方》

- 東京都や東京都技能士連合会など関係機関との密接な連携の下に、能力開発事業や技能評価事業、技能振興事業を効果的に実施し、技能人材の確保・育成と技能者の地位向上に貢献していく。
- コロナ禍の影響など協会を取り巻く環境の厳しさが続く中、デジタル技術の活用などによるサービスの向上や事務事業の効率化を図るとともに、経費節減にも努める。
- 各事業の実施に際しては、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底する。

1 総務事項

事項	概要
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した事業運営を支える財政基盤を確立するとともに協会事業の一層の活用促進を図るため、新規会員の開拓や事業PRの強化に努める。 ・ 効果的、効率的な事業運営を図るため、事務改善や職場環境の改善に取り組む。
総会・理事会等	<ol style="list-style-type: none"> 1 通常総会 6月2日(木) 2 理事会 3月 3 参与会 11月・3月
会長表彰	<ol style="list-style-type: none"> 1 認定訓練・技能検定関係等で功績、功労のあった団体及び個人(通常総会) 2 会員団体主催の技能コンクール等で優秀な成績を修めた団体及び個人 3 技能競技大会等成績優秀者(職業能力開発功労者表彰式) 4 認定職業訓練校成績優秀者
情報提供等	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報誌の提供 会報 : 4回発行 事業概要 : 1回作成 2 ホームページ等による情報の提供 ホームページの段階的見直しなど、情報発信機能の強化を図る。

2 職業訓練振興事業

事項	概要																			
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 東京都と緊密な連携を図りつつ職業訓練指導員講習等を実施していく。 入校者の減少等、認定職業訓練校を取り巻く現状を踏まえ、事業を効果的に実施するとともに、「ものづくり匠の技の祭典2022」への出展など、認定校のPRに取り組んでいく。 																			
職業訓練指導員講習等	<p>厚生労働大臣が指定する職業訓練指導員免許取得講習を開催する。 東京都が実施する職業訓練指導員試験の受験者を対象とする受験対策講習会を開催する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>定員</th> <th>回数</th> <th>定員計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職業訓練指導員講習(48時間講習)</td> <td>38</td> <td>3</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>職業訓練指導員試験準備講習会</td> <td>50</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>				種別	定員	回数	定員計	職業訓練指導員講習(48時間講習)	38	3	114	職業訓練指導員試験準備講習会	50	1	50				
種別	定員	回数	定員計																	
職業訓練指導員講習(48時間講習)	38	3	114																	
職業訓練指導員試験準備講習会	50	1	50																	
認定訓練関係	<p>当協会の会員認定訓練校における訓練を支援するため各種事業を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">会議</td> <td>認定訓練校長等会議</td> <td>年2回(6月、11月)</td> </tr> <tr> <td>職業訓練振興事業運営委員会・部会</td> <td>年1回(令和5年2月)</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>認定訓練生合同研修</td> <td>未定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ものづくり・技能祭</td> <td>東京都主催『ものづくり・匠の技の祭典2022』認定校ブース展示</td> <td>3日間(8月)</td> </tr> <tr> <td>都立職業能力開発センター「技能祭」への参加助成</td> <td>年1回(11月)</td> </tr> </tbody> </table>				区分	事業	計画	会議	認定訓練校長等会議	年2回(6月、11月)	職業訓練振興事業運営委員会・部会	年1回(令和5年2月)	研修	認定訓練生合同研修	未定	ものづくり・技能祭	東京都主催『ものづくり・匠の技の祭典2022』認定校ブース展示	3日間(8月)	都立職業能力開発センター「技能祭」への参加助成	年1回(11月)
区分	事業	計画																		
会議	認定訓練校長等会議	年2回(6月、11月)																		
	職業訓練振興事業運営委員会・部会	年1回(令和5年2月)																		
研修	認定訓練生合同研修	未定																		
ものづくり・技能祭	東京都主催『ものづくり・匠の技の祭典2022』認定校ブース展示	3日間(8月)																		
	都立職業能力開発センター「技能祭」への参加助成	年1回(11月)																		

3 人材育成研修事業

事項	概要																																																																									
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成研修の実績や受講者のアンケート等を検証し、受講ニーズに即した研修科目やカリキュラムを企画していく。 新たにホームページを通じた申し込みを開始し、利用者の利便性向上と事務の効率化を図る。 																																																																									
各種研修	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">研修区分</th> <th>定員</th> <th>回数</th> <th>定員計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">階層別研修</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">新入社員</td> <td>新入社員(3日)</td> <td>30</td> <td>7</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>〃 フォローアップ(2日)</td> <td>30</td> <td>3</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>〃 ビジネスコミュニケーション(1日)</td> <td>30</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">初級・中堅</td> <td>初級社員(2日)</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>中堅社員活性化(2日)</td> <td>30</td> <td>6</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>中堅リーダー(2日)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">管理職等</td> <td>管理職養成(2日)</td> <td>30</td> <td>6</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>管理職実践(2日)</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小計(階層別研修)</td> <td>30</td> <td>38</td> <td>1,140</td> </tr> <tr> <td colspan="2">課題・職種別等</td> <td>30</td> <td>10</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td colspan="2">講師派遣研修</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td colspan="2">オンライン研修</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>—</td> <td>61</td> <td>1,585</td> </tr> </tbody> </table>				研修区分		定員	回数	定員計	階層別研修					新入社員	新入社員(3日)	30	7	210	〃 フォローアップ(2日)	30	3	90	〃 ビジネスコミュニケーション(1日)	30	1	30	初級・中堅	初級社員(2日)	30	2	60	中堅社員活性化(2日)	30	6	180	中堅リーダー(2日)	30	11	330	管理職等	管理職養成(2日)	30	6	180	管理職実践(2日)	30	2	60	小計(階層別研修)		30	38	1,140	課題・職種別等		30	10	300	講師派遣研修		15	3	45	オンライン研修		10	10	100	合計		—	61	1,585
研修区分		定員	回数	定員計																																																																						
階層別研修																																																																										
新入社員	新入社員(3日)	30	7	210																																																																						
	〃 フォローアップ(2日)	30	3	90																																																																						
	〃 ビジネスコミュニケーション(1日)	30	1	30																																																																						
初級・中堅	初級社員(2日)	30	2	60																																																																						
	中堅社員活性化(2日)	30	6	180																																																																						
	中堅リーダー(2日)	30	11	330																																																																						
管理職等	管理職養成(2日)	30	6	180																																																																						
	管理職実践(2日)	30	2	60																																																																						
小計(階層別研修)		30	38	1,140																																																																						
課題・職種別等		30	10	300																																																																						
講師派遣研修		15	3	45																																																																						
オンライン研修		10	10	100																																																																						
合計		—	61	1,585																																																																						

4 技能検定事業

事項	概要																																																														
運営方針	<p>1 東京都の実施方針等に従い、技能検定委員及び協力団体・協力企業を適切に指導するとともに関係機関と連携し、厳正かつ公正に技能検定を実施する。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、安心・安全な技能検定を実施する。</p> <p>〈定期試験について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能検定試験成績優秀者に対する表彰を実施するなど、技能検定試験の受検促進及び技能者の技能習得意欲の増進を図る。 <p>〈随時試験について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後予想される外国人技能実習生の増加に対応するため、江戸川検定試験場の活用を図るとともに、集合方式による技能検定の実施など運用の改善に取り組む。 																																																														
定期試験	<p>1 実施規模</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>職種</th> <th>作業</th> <th>学科人員</th> <th>実技人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特級</td> <td>26</td> <td>—</td> <td>160人</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>1級</td> <td>103</td> <td>165</td> <td>4,450人</td> <td>4,450人</td> </tr> <tr> <td>2級</td> <td>103</td> <td>165</td> <td>3,300人</td> <td>3,300人</td> </tr> <tr> <td>3級</td> <td>20</td> <td>29</td> <td>1,940人</td> <td>1,940人</td> </tr> <tr> <td>単一等級</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>150人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10,000人</td> <td>10,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 実施日程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>前期</th> <th>後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">実施公示</td> <td>令和4年3月1日(火)</td> <td>令和4年9月1日(木)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受検申請受付</td> <td>4月4日(月)～4月15日(金)</td> <td>10月3日(月)～10月14日(金)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実技試験</td> <td>問題公表</td> <td>5月31日(火)</td> <td>11月28日(月)</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>6月7日(火)～8月14日(日)★ 6月7日(火)～9月11日(日)</td> <td>12月5日(月)～令和5年 2月12日(日)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">学科試験</td> <td>7月10日(日)★ 8月21日(日) 8月28日(日) 9月4日(日)</td> <td>令和5年 1月22日(日) 1月29日(日) 2月1日(水) 2月5日(日)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合格発表</td> <td>8月26日(金)★ 9月30日(金)</td> <td>令和5年 3月10日(金)</td> </tr> </tbody> </table> <p>★…金属熱処理を除く3級職種が対象</p>	等級	職種	作業	学科人員	実技人員	特級	26	—	160人	160人	1級	103	165	4,450人	4,450人	2級	103	165	3,300人	3,300人	3級	20	29	1,940人	1,940人	単一等級	10	11	150人	150人	合計	—	—	10,000人	10,000人			前期	後期	実施公示		令和4年3月1日(火)	令和4年9月1日(木)	受検申請受付		4月4日(月)～4月15日(金)	10月3日(月)～10月14日(金)	実技試験	問題公表	5月31日(火)	11月28日(月)	実施	6月7日(火)～8月14日(日)★ 6月7日(火)～9月11日(日)	12月5日(月)～令和5年 2月12日(日)	学科試験		7月10日(日)★ 8月21日(日) 8月28日(日) 9月4日(日)	令和5年 1月22日(日) 1月29日(日) 2月1日(水) 2月5日(日)	合格発表		8月26日(金)★ 9月30日(金)	令和5年 3月10日(金)
等級	職種	作業	学科人員	実技人員																																																											
特級	26	—	160人	160人																																																											
1級	103	165	4,450人	4,450人																																																											
2級	103	165	3,300人	3,300人																																																											
3級	20	29	1,940人	1,940人																																																											
単一等級	10	11	150人	150人																																																											
合計	—	—	10,000人	10,000人																																																											
		前期	後期																																																												
実施公示		令和4年3月1日(火)	令和4年9月1日(木)																																																												
受検申請受付		4月4日(月)～4月15日(金)	10月3日(月)～10月14日(金)																																																												
実技試験	問題公表	5月31日(火)	11月28日(月)																																																												
	実施	6月7日(火)～8月14日(日)★ 6月7日(火)～9月11日(日)	12月5日(月)～令和5年 2月12日(日)																																																												
学科試験		7月10日(日)★ 8月21日(日) 8月28日(日) 9月4日(日)	令和5年 1月22日(日) 1月29日(日) 2月1日(水) 2月5日(日)																																																												
合格発表		8月26日(金)★ 9月30日(金)	令和5年 3月10日(金)																																																												
随時試験	<p>1 実施規模</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>職種</th> <th>作業</th> <th>学科人員</th> <th>実技人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時2級</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>800人</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>随時3級</td> <td>46</td> <td>71</td> <td>2,400人</td> <td>2,400人</td> </tr> <tr> <td>基礎級</td> <td>47</td> <td>74</td> <td>2,200人</td> <td>2,200人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5,400人</td> <td>5,400人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 実施日程</p> <p>外国人の技能実習生を対象に随時実施</p>	等級	職種	作業	学科人員	実技人員	随時2級	29	34	800人	800人	随時3級	46	71	2,400人	2,400人	基礎級	47	74	2,200人	2,200人	合計	—	—	5,400人	5,400人																																					
等級	職種	作業	学科人員	実技人員																																																											
随時2級	29	34	800人	800人																																																											
随時3級	46	71	2,400人	2,400人																																																											
基礎級	47	74	2,200人	2,200人																																																											
合計	—	—	5,400人	5,400人																																																											

5 技能評価事業

事項	概要																				
運営方針	<p>ビジネス系の職務遂行能力の評価を行う公的資格試験として、厳正かつ公正に実施していく。</p> <p>〈コンピュータサービス技能評価試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定施設試験委員会等を開催し実施方針等の情報提供を行うなど、厳正かつ公平な対応と効率的な運営を図っていく。 関係教育機関等を訪問するなど積極的なPR活動を実施し、受験者数の拡大を図る。 <p>〈ビジネスキャリア検定試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央職業能力開発協会と連携し、効率的な運営を図る。 																				
コンピュータサービス技能評価試験	<p>1 概要 コンピュータ操作に従事する人々の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的として、中央職業能力開発協会と各都道府県職業能力開発協会が共同で実施</p> <p>2 試験分野</p> <table border="1" data-bbox="288 741 1238 920"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>部門</th> <th>等級区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">OA機器操作分野</td> <td>ワープロ部門</td> <td rowspan="2">1級・2級・3級</td> </tr> <tr> <td>表計算部門</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティ部門</td> <td>単一級</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 実施日程 令和4年5月～令和5年2月(毎月実施)</p> <p>4 実施規模 1,000人</p>	分野	部門	等級区分	OA機器操作分野	ワープロ部門	1級・2級・3級	表計算部門	情報セキュリティ部門	単一級											
分野	部門	等級区分																			
OA機器操作分野	ワープロ部門	1級・2級・3級																			
	表計算部門																				
	情報セキュリティ部門	単一級																			
ビジネスキャリア検定試験	<p>1 概要 事務系職種の幅広い分野を対象としたホワイトカラー向けの公的資格試験で、中央職業能力開発協会が主体となり、全国で実施</p> <p>2 試験分野・区分</p> <table border="1" data-bbox="288 1346 1385 1783"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人事・人材開発・労務管理</td> <td>人事・人材開発、労務管理 など(5区分)</td> </tr> <tr> <td>経理・財務管理</td> <td>経理、財務管理 など(6区分)</td> </tr> <tr> <td>営業・マーケティング</td> <td>営業、マーケティング など(5区分)</td> </tr> <tr> <td>生産管理</td> <td>生産管理プランニング など(9区分)</td> </tr> <tr> <td>企業法務・総務</td> <td>企業法務、総務 など(6区分)</td> </tr> <tr> <td>ロジスティクス</td> <td>ロジスティクス管理 など(6区分)</td> </tr> <tr> <td>経営情報システム</td> <td>経営情報システム (4区分)</td> </tr> <tr> <td>経営戦略</td> <td>経営戦略 (3区分)</td> </tr> <tr> <td>8分野</td> <td>44区分</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 実施日程 [前期] 令和4年10月2日(日) [後期] 令和5年2月19日(日)</p> <p>4 実施規模 [前期] 4,250人 [後期] 4,000人</p>	分野	区分	人事・人材開発・労務管理	人事・人材開発、労務管理 など(5区分)	経理・財務管理	経理、財務管理 など(6区分)	営業・マーケティング	営業、マーケティング など(5区分)	生産管理	生産管理プランニング など(9区分)	企業法務・総務	企業法務、総務 など(6区分)	ロジスティクス	ロジスティクス管理 など(6区分)	経営情報システム	経営情報システム (4区分)	経営戦略	経営戦略 (3区分)	8分野	44区分
分野	区分																				
人事・人材開発・労務管理	人事・人材開発、労務管理 など(5区分)																				
経理・財務管理	経理、財務管理 など(6区分)																				
営業・マーケティング	営業、マーケティング など(5区分)																				
生産管理	生産管理プランニング など(9区分)																				
企業法務・総務	企業法務、総務 など(6区分)																				
ロジスティクス	ロジスティクス管理 など(6区分)																				
経営情報システム	経営情報システム (4区分)																				
経営戦略	経営戦略 (3区分)																				
8分野	44区分																				

6 技能振興事業

事項	概要
運営方針	<p>・若者のものづくり離れや熟練技能者の高齢化が進む中、若者を中心に技能尊重気運を醸成するとともに、技能者の地位向上や技能向上に資する多様な事業を展開し、ものづくり人材の確保育成に貢献していく。事業実施にあたっては、東京都技能士連合会など関係機関との連携を密にして、効果的な運営に努めていく。</p>
職人塾	<p>1 概要 若者をものづくり現場に誘導し、若者の技能職への就業の契機とするため、ものづくり現場のオンライン見学会や職人の指導の下での職場体験を実施する。</p> <p>〔対象〕 34歳以下のものづくり職種に就職を希望する若者 〔職種〕 事業対象の全職種 〔期間〕 最大20日間程度 〔規模〕 50名</p>
競技大会等への参加	<p>1 概要 各種技能競技大会への参加にあたり、選手選抜や選手派遣事業所との連絡調整、参加促進等助成、参加支援、普及啓発を行う。</p> <p>2 第60回「技能五輪全国大会」への参加 国内青年技能者が技能レベルを競うことにより、青年技能者の技能向上に資するとともに、技能尊重気運を醸成するため開催される「技能五輪全国大会」に参加する。 日 程：令和4年11月4日(金)～11月7日(月) 場 所：千葉県 幕張メッセ 他</p> <p>3 「技能グランプリ」への参加 今年度中止(厚生労働省通知による)</p> <p>(参考)第31回大会 日 程：令和3年2月19日(金)～2月22日(月) 場 所：愛知県 他 競技職種：染色補正、建築大工、家具、レストランサービスなど28職種 選 手：東京都選手は17職種に39人参加(全体:約344人) 入賞状況：最優秀技能選手団賞受賞(6回連続) 17名〔金賞(厚生労働大臣賞)…2 銀賞…7 銅賞…6 敢闘賞…2〕</p>

事項	概要
競技大会等への参加	<p>4 第17回「若年者ものづくり競技大会」への参加 若者のものづくり技能への意識高揚と技能習得への意欲を喚起するため、能力開発施設、工業高校等の原則20歳以下の生徒を対象に開催される「若年者ものづくり競技大会」に参加する。</p> <p style="padding-left: 40px;">日 程：令和4年7月27日(水)～7月28日(木) 場 所：広島県立広島産業会館 他</p> <p>5 全国技能競技大会等参加促進事業【新規】</p> <p>(1) 全国技能競技大会等選手育成強化補助金</p> <p>① 概要 技能グランプリ、技能五輪全国大会、全国障害者技能競技大会及び関連の国際大会に東京都(日本)代表として出場する選手及び出場を目指す選手の強化実習に係る経費を補助する。</p> <p>② 補助対象団体 中小企業者、学校、競技職種関係団体等</p> <p>③ 補助対象経費 外部講師謝金、材料費、会場・機器等賃借料、外部講習会参加費等</p> <p>④ 補助金額等 ・補助率:3分の2以内 ・補助限度額:選手1人当たり20万円、1団体当たり100万円</p> <p>(2) 技能五輪全国大会出場支援補助金</p> <p>① 技能五輪全国大会に東京都代表として出場する選手の参加に要する経費を補助する。</p> <p>② 補助対象団体 中小企業者、学校、競技職種関係団体等</p> <p>③ 補助対象経費 大会参加費、職種別負担金</p> <p>④ 補助金額等 ・補助率:3分の2以内 ・補助限度額:選手1人当たり10万円、1団体当たり50万円</p> <p>(3) 全国競技大会等参加支援 全国競技大会の東京代表選手が安心して出場できるよう、事前の説明会、当日の支援、参加後の報告会等の支援を実施する。</p> <p>(4) 全国競技大会等普及啓発 全国競技大会等に新たに社員を参加させる企業等を増やすため、競技大会の参加の効果や練習の方法、企業の役割などについて普及啓発を実施する。</p> <p>6 東京都主催「ものづくり・匠の技の祭典2022」への運営協力と出展 共催団体として全体運営に携わるとともに、各種ブースに出展し、ものづくりの魅力を発信する。</p> <p style="padding-left: 40px;">日 程：令和4年8月5日(金)～7日(日) 場 所：東京国際フォーラム</p>

7 若年技能者人材育成支援等事業(厚生労働省委託事業)

事項	概要
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 国の雇用保険財政の悪化により、昨年度に比べ委託費が大幅な減額となったため、中小企業の若年技能者の育成支援に重点を置き事業を展開する。
ものづくりマイスターの認定・活用	<ol style="list-style-type: none"> ものづくりマイスターの認定・登録 <ol style="list-style-type: none"> ものづくりマイスターの認定・登録に関する相談・援助 ものづくりマイスター、ITマスター、テックマスターをものづくりマイスターに統合し、年度後半から、新たな認定基準により、認定・登録を実施予定 指導技法等講習会の実施 新たに認定されたものづくりマイスターに対し、指導技法等講習会を実施(年3回程度) ものづくりマイスターの活用 <ol style="list-style-type: none"> 若年技能者の人材育成に係る相談・援助 ・若年技能者の人材育成に係る相談・援助、ものづくりマイスターを活用した実技指導など総合的なコーディネートを展開 ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施 <ol style="list-style-type: none"> 中小企業等へのものづくりマイスター派遣 ・企業ニーズに即した実技指導を実施 〔規模〕延べ1,400人日 工業高校等へのものづくりマイスター派遣 ・技能検定課題等を活用した実技指導を実施 〔規模〕延べ800人日 イベントエリアへのものづくりマイスター派遣 ・新たに、実技指導又は実演・体験指導の実施 〔規模〕ものづくりマイスター総派遣数の中で状況に応じて設定 ものづくり魅力発信事業 ・地域若者サポートステーション事業支援対象者のみ実施(小中学校は休止) 〔規模〕延べ10人日 熟練技能者の派遣による実技指導 ・ものづくりマイスター対象分野以外の職種で実施 〔規模〕延べ200人日
地域における技能振興	<ol style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会予選の実施 3職種(西洋料理、洋菓子製造、電工) 技能五輪全国大会等参加者への支援(旅費等) <ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会(開催地:千葉県) 若年者ものづくり競技大会(開催地:広島県) 現代の名工の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援
連携会議	<p>連携会議を開催し、事業の進行管理及び推進計画を審議する。 〔委員〕学識経験者、経営者団体、労働者団体、教育関係者、東京都、東京労働局</p>